

◎第9回理事会 (42.2.24) 出席者：水野，酒井，最上副会長，羽田専務理事，青木，栗田，飯吉，久保，米谷，堺，多田，友田，成岡，広瀬，藤田，村上，森垣，吉田の各理事，井関監事。記事：篠原会長欠席のため最上副会長議長となり議事をすすめる。議事録署名理事の決定：羽田専務理事，森垣理事。A. 報告事項：つぎの各項につき羽田専務理事より報告があり了承された；1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会その他報告。4) 藤原賞候補者の推せん。B. 協議事項：1) 定例評議員開催について，日時・場所，主なる議題を承認。2) 役員候補者選考委員会について。3) その他。4) 委員委嘱について

① PC工法小委員会 (レオンハルト & レオバ工法)

- |     |        |                 |
|-----|--------|-----------------|
| 委員長 | 国分 正胤  | 東京大学工学部         |
| 主査  | 河野 通之  | 日本交通技術          |
| 委員  | 有江 義晴  | 首都高速道路公団        |
|     | 池田 康平  | 日本鉄道建設公団        |
|     | 池田 哲夫  | 建設省道路局          |
|     | 伊東 茂富  | 建設省土木研究所        |
|     | 猪瀬 幸雄  | 日本建設コンサルタント(株)  |
|     | 猪股 俊司  | (株) 日本構造橋梁研究所   |
|     | 上前 行孝  | 首都高速道路公団 工務部    |
|     | 尾坂 芳夫  | 国鉄構造物設計事務所      |
|     | 小野竹之助  | 日本大学理工学部        |
|     | 岡田 清   | 京都大学工学部         |
|     | 岡村 甫   | 東京大学工学部         |
|     | 二藤 憲一  | 日本道路公団技術部       |
|     | 加賀美一二三 | 山口大学工学部         |
|     | 神山 一   | 早稲田大学理工学部       |
|     | 小寺 重郎  | 八千代エンジニアリング(株)  |
|     | 小林 一輔  | 東京大学 生産技術研究所    |
|     | 小林 正几  | 東京大学工学部         |
|     | 後藤 幸正  | 東北大学工学部         |
|     | 菅原 操   | 国鉄名古屋鉄道 管理局     |
|     | 津野 和男  | 首都高速道路公団 神奈川建設局 |
|     | 堂垣内尚弘  | 北海道開発庁 事務次官     |
|     | 長滝 重義  | 東京工業大学工学部       |
|     | 仁杉 巖   | 国鉄常務理事          |
|     | 西沢 紀昭  | 中央大学理工学部        |
|     | 野口 功   | 国鉄東京工務局         |
|     | 樋口 芳朗  | 国鉄鉄道技術研究所       |
|     | 船越 稔   | 広島大学工学部         |
|     | 松本 嘉司  | 東京大学工学部         |
|     | 三浦 一郎  | 明星大学工学部         |
|     | 水野 高明  | 九州大学工学部         |
|     | 榎輪健一郎  | 建設省道路局          |
|     | 南 俊次   | 阪神高速道路公団        |
|     | 村田 二郎  | 東京都立大学工学部       |
|     | 横道 英雄  | 北海道大学工学部        |
|     | 山崎 淳   | 東京大学工学部         |
|     | 浅見 重夫  | 大成建設(株) 土木本部    |
|     | 広野 正道  | 技術研究所           |

- |    |       |              |
|----|-------|--------------|
| 委員 | 大橋 一隆 | 大成建設(株) 土木本部 |
|    | 只野 直典 | " "          |
|    | 湯田坂益利 | " "          |
|    | 小原 忠幸 | " "          |
|    | 山田 邦光 | 技術研究所        |
|    | 松本 正  | " "          |
| 幹事 | 小泉 圭一 | 土木本部         |
|    | 吉岡 伸晃 | " "          |
|    | 桑田 隆雄 | " "          |

◎各種委員会

(1) 昭和41年度第2回 海岸工学委員会 (42.1.23) 出席者：本間委員長，ほか18名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 第14回海岸工学講演会開催地について。3) 委員会予算について。4) Coastal Engineering in Japan について。5) 海岸工学関係刊行物の頒布方法について。

(2) 本州四国第13回 耐震設計小委員会 (42.1.24) 出席者：関係者29名。議事：省略。

(3) 本州四国第28回 耐風設計小委員会 (42.1.25) 出席者：関係者24名。議事：省略。

(4) 本州四国連絡橋技術調査委員会打合せ (42.1.26) 出席者：関係者3名。議事：省略。

(5) 田中賞選考委員会幹事会 (42.1.27) 出席者：関係者4名。議事：昭和41年度田中賞論文部門，作品部門の推薦につき調整を行ない，作品部門20候補，論文部門6候補をそれぞれ有資格として選考に付することになった。

(6) 海外連絡委員会 (42.1.27) 出席者：関係者9名。議事：1) 前回幹事会報告。2) 学術会議海外渡航者の推せんについて。3) 在外国人のつどいについて。4) Civil Engineering in Japan 1967 の経過報告。

(7) 高校土木教育研究委員会幹事会 (42.1.28) 出席者：箭内委員長，三宅幹事長，ほか4名。議事：1) 実験指導書定価変更について。2) 測量実験指導書について。3) 高校土木教育白書について。4) これからの高校土木教育について。5) その他。

(8) 本州四国耐震設計小委員会第45回幹事会 (42.1.30) 出席者：関係者11名。議事：省略。

(9) 第1回表彰委員会主査幹事会 (42.1.30) 出席者：岡本，渡辺の両主査，ほか3名。議事：昭和41年度功績賞，技術賞候補の推薦につき，調査を行ない功績賞10候補，技術賞12候補をそれぞれ有資格として選考に付することになった。

(10) 土木技術者研修計画委員会幹事会 (42.1.30) 出席者：鈴木幹事長，ほか

4名。議事：1) 第2次研修結果の報告。2) 報告書作成について。3) その他。

(11) ダムコンクリート標準示方書改訂小委員会 (42.1.31) 出席者：国分委員長，関主査，ほか14名。議事：ダムコンクリート標準示方書改訂案(最終案)の逐条審議。

(12) 第1回論文賞選考委員会主査幹事会 (42.1.31) 出席者：久保，嶋，福岡(代)，米谷(代)の各主査，ほか3名。議事：1) 推薦(応募)候補論文の資格検討。2) 候補論文の専門別仕分け。3) 審査員の選定。4) 審査の方法について。5) 次回主査幹事会について。6) 第2回委員会について。

(13) 第2回土木計画学研究委員会 (42.1.31) 出席者：鈴木委員長，米谷副委員長，八十島幹事長，ほか12名。議事：1) 第1回土木計画学シンポジウムの反省。2) 今後の活動方針の決定。3) 今後の事業計画の樹立，およびその担当幹事内定。4) 次回委員会，幹事会日程決定。5) その他。

(14) 本州四国連絡橋技術調査委員会第13回基礎に関する専門部会 (42.2.1) 出席者：関係者4名。議事：省略。

(15) 文献調査委員会 (42.2.1) 出席者：松本委員長，ほか13名。議事：1) 会誌52巻4号登載抄録の決定。2) 解説記事について。3) その他。

(16) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会(最終審議会) (42.2.2) 出席者：国分委員長，河野主査，ほか46名。議事：鉄筋コンクリート標準示方書改訂最終(案)逐条審議。

(17) 論文集編集委員会各部会 (42.2.2) 出席者：都副委員長，西村，池田部会長，ほか23名。議事：1) 審査中原稿の報告。2) 新規受付原稿審査委員の決定。3) 委員交代の件。

(18) 昭和41年度第3回水理委員会 (42.2.3) 出席者：石原委員長，林副委員長，ほか25名。議事：1) 前回常任委員会議事録の確認。2) 1967年度に派遣を希望する学術関係国際会議の推せんについて。3) 昭和41年度土木学会賞候補推せんについて。4) 次回水理講演会開催地について。5) 水理関係刊行物の頒布，寄贈について。6) 1967年度水工学夏期研修会開催について。7) 水理公式集改訂案について。8) アボット氏講演会開催について。9) 水理学長期研究計画について。10) 委員の交代について。

(19) 第4回衛生工学委員会 (42.2.3) 出席者：板倉委員長，ほか13名。議事 1) 土木学会各種委員長懇談会の報告の

件。2) 土木学会出版企画委員会よりの申入の件。3) 第4国衛生工学研究討論講演会開催の件。4) 受託研究の件。5) 第4回国際水質汚濁会議の件。6) その他。

(20) 会誌編集小委員会 (42.2.3) 出席者: 増岡委員長, ほか5名。議事: 1) 会誌 52 巻4号編集の件。2) 懸賞論文, 表紙公募の件。3) 次回講座の件。4) 次回幹事会の件。

(21) 本州四国連絡橋 技術調査委員会 第15 回上部構造に関する専門部会 (42.2.3) 出席者: 関係者51名。議事: 省略。

(22) PC 工法小委員会 (MDC 工法) (42.2.4) 出席者: 国分委員長, 河野主査, ほか8名。議事: 1) MDC 工法設計施工の参考資料について。2) 西沢委員の試験結果(ひびわれ幅試験)について。

(23) 大学土木教育委員会第7 回幹事会 (42.2.6) 出席者: 林委員長, ほか9名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) Educational Reorm の和訳について。3) カリキュラムの変遷について。4) 工学関係学部設置基準要項について。5) その他。

(24) 論文集部会長会 (42.2.9) 出席者: 都副委員長, 西村, 嶋, 池田部会長, ほか3名。議事: 1) 各部会報告。2) 論文集第140~141号登載原稿の決定。3) 新規受付原稿審査委員の決定。4) 討議原稿について。5) 委員交代について。

(25) 第23 回学術講演連絡委員会 (42.2.10) 出席者: 久保委員長, ほか10名。議事: 1) 昭和42年夏期講習会について。2) 土木系学生会について。

(26) 会誌編集委員会特集打合せ (42.2.13) 出席者: 増岡委員長, ほか3名。議事: 1) 会誌 52 巻および53巻特集計画の件。2) 次回講座の件。3) その他。

(27) トンネル工学委員会 運営委員会 (42.2.13) 出席者: 加納委員長, ほか11名。議事: 1) 委員会会計報告。2) 委員会構成について。3) 委員会の運営方針。4) その他。

(28) 本州四国耐風設計小委員会第46 回幹事会 (42.2.14) 出席者: 関係者11名。議事: 省略。

(29) 第9 回原子力土木技術委員会 (42.2.14) 出席者: 左合委員長, ほか9名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 海洋汚染の問題について。3) 委員の追加について。4) 各種委員会合同打合せ報告。5) 原子炉施設の耐震設計とその試験について。6) 第5 回原子力総合シンポジウムについて。

(30) 出版企画委員会 (42.2.14) 出席者: 春日屋委員長, ほか9名。議事: 1) 昭和41 年度新規出版物の進捗状況につ

いて。2) 現在進行中または企画中の出版物について。3) 工事報告「天草架橋」の出版委託について。4) 出版文化賞の制定について。5) その他話題に上っている出版物について。6) 新規出版物の企画について。7) その他。

(31) 鉄筋コンクリート 標準示方書改訂小委員会主査幹事会 (42.2.15) 出席者: 河野主査, ほか2名。議事: 鉄筋コンクリート標準示方書改訂案(最終案)の取りまとめ。

(32) 本州四国連絡橋 技術調査委員会 打合せ (42.2.16) 出席者: 関係者5名。議事: 省略。

(33) 鉄筋コンクリート 標準示方書改訂小委員会 (42.2.16) 出席者: 河野主査, ほか2名。議事: 鉄筋コンクリート標準示方書改訂案(最終案)の取りまとめ。

(34) 土木技術者研修 計画委員会幹事会 (42.2.16) 出席者: 丸安委員長, 鈴木幹事長, ほか3名。議事: 1) 報告書作成に関する基本方針の検討。2) 報告書作成に関する内容の検討。3) 報告書作成に関する作業予定について。

(35) 鉄筋コンクリート 標準示方書改訂小委員会主査幹事会 (42.2.17) 出席者: 河野主査, 尾板幹事。議事: 鉄筋コンクリート標準示方書改訂案(最終案)の取りまとめ。

(36) 岩盤力学委員会第1 分科会 (第5 回) (42.2.17) 出席者: 関係者8名。議事: 1) 矢作アーチダムの構造設計について(講演)建設省 柴田委員。2) 委員の追加について。

(37) 第105 回耐震工学委員会 (42.2.17) 出席者: 那須委員長, ほか11名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 本州四国耐震設計小委員会について。3) IAEE について。4) 第9 回地震工学研究発表会について。5) 地震工学研究連絡委員会について。

#### ◎その他

(1) 各種委員会委員長懇談会 (42.1.26, 土木学会) 出席者: 篠原会長, 成岡, 耳野, 米谷, 森垣の各担当理事, 羽田専務理事, 青木, 福田, 本間, 岡本(代), 左合, 松本(代), 久保, 国分(代), 林, 板倉(代), 伊藤, 米元, 最上, 春日屋の各委員長。記事: 1) 会長挨拶。2) 経過報告。3) 規程案の審議。4) その他。

(2) “岩の力学” 国内シンポジウム 運営打合せ (42.1.28, 土木学会) 出席者: 日本鉱業会, 日本材料学会, 土学質工会, 土木学会より関係者15名。議事: 1) 経

過報告。2) 国際岩盤力学会議について。3) “岩の力学” 国内シンポジウムについて。

(3) 土木計画学研究委員会 第1 回シンポジウム (42.1.30)

場 所: 大和証券ホール

出席者: 委員会, 講師等鈴木委員長, ほか20 余名

受講者: 有料招待者等約350 名

記 事: 会告にて告示したプログラムにしたがい講演, 討議がなされた。

(4) 第11 回水理講演会 (42.2.3~4)

場 所: 土木図書館講堂

参加者: 延400 名

講演数: 15 題

(5) 水文学に関するシンポジウム

(42.2.4)

場 所: 土木図書館講堂

参加者: 200 名

講演数: 6 題

## 支 部 だ よ り

### ◎東北支部

(1) 昭和41 年度技術講座

(41.10.5)

会 場: 山形県自治会館大会議室(山形市緑町1の1の21)

参加人員: 150 名

会 費: 聴講無料 テキスト: 会場で実費頒布

プログラム:

開会の挨拶 東北大学教授 後藤幸正  
開会の挨拶 山形県土木部長 高橋 博

1. PC 工法の管理について

国鉄東京工事局土木課長 野口 功

2. フレシネ工法について

極東鋼弦コンクリート振興(株)業務部技術課長 松村 泰年

3. ディビダーク工法について

鹿島建設(株)土木設計部PC課長 百島 祐信

4. レオンハルト工法及びレオバ工法について

大成建設(株)土木設計部 只野 直典  
小原 忠幸

5. BBRV 工法について

北海道PS(株)業務部技術課長 宮地 清

6. 国産ピーエスコンクリート MDC 工法について

川崎製鉄(株)建設技術部 吉村 善臣

閉会挨拶

(2) 昭和41 年度東北支部 技術研究発表会 (42.2.21)

場 所: 宮城県民会館(仙台市定禅寺通櫓丁48)

発表数: 第1部門 16 題

第2部門 14 題

参加者: 200 名

## ◎関西支部

### (1) “合板型枠” 施工技術講習会

(42.2.15~16, 朝日生命ホール)

主 催: 日本建築学会近畿支部

後 援: 土木学会関西支部・日本材料学会  
関西支部・大阪建設業協会・  
大阪府建築士会・日本建築家協  
会関西支部・日本建築協会

協 賛: 日刊建設工業新聞社

題目と講師:

(第1日)

1. 合板型枠の使用現況  
建設省建築研究所第4研究部長 亀田 泰弘
  2. これからの型枠工事  
国土館大学教授 永井 久雄
  3. 型枠用合板に必要な基礎的知識  
永大産業(株)研究所長 小倉 武夫
  4. 合板型枠の見分け方選び方  
清水建設(株)研究所研究員 野中 稔
  5. 合板型枠の型枠計画と現場管理  
(株)竹中工務店技術課長 今井浩一郎
- (第2日)
6. 合板型枠の緊結工法の実験  
東京仮設機械(株)大阪営業所長 吉田 英志
  7. 硬化不良付着性の問題について  
大阪セメント(株)研究所第一課長 中堂 昭
  8. 施工体験から

イ (株)大林組工務部長 窪田 祐  
ロ 大成建設(株)大阪支店作業所長 林 正一  
ハ (株)鴻池組建築工務部長 白石 静二

### 9. 型枠用合板の将来

日本プライフォーム(株)常務取締役 大久保敏男

参加者: 413名 参加費: 4000円

(2) 耐震設計に関する講習会(42.2.21~22, 大阪科学技術センター)

主 催: 日本材料学会・同関西支部・土木学会 関西支部・土質工学会 関西支部・日本建築学会近畿支部

題 目: 9題, 映 画: 1題

参加者: 141名

(3) 臨時商議員会(42.1.18, 好文倶楽部) 出席者: 商議員16名, 委任状10通, 評議員6名, 吉田理事, 橋監事, 小西支部長, 伊藤幹事長, ほか6名。

(4) 第10回幹事会(42.2.21, 中央電気倶楽部) 出席者: 伊藤 幹事長, ほか14名。

(5) 第9回騒音振動委員会(42.2.14, 中央電気倶楽部) 出席者: 庄司委員長, 畑中 幹事長, ほか13名。

(6) 騒音振動委員会幹事会(第6回)(42.2.14, 中央電気倶楽部) 出席者: 庄

司委員長, 畑中幹事長, ほか5名。

### (7) 騒音振動委員会幹事

つぎのとおり追加委嘱した。

後藤 尚男 京都大学教授  
谷本 喜一 神戸大学教授

## ◎中国四国支部

### (1) 第2回見学会(42.2.22)

場 所: 安芸大橋・広島新国道パイパス  
音戸大橋 呉造船所(造船部門鉄  
構構造部門)

参加者: 92名

## ◎西部支部

(1) 評議員および幹事会(42.1.13, 天神ビル) 出席者: 七田支部長, ほか19名。議事: 1) 来年度支部長推せんについて。2) 支部総会提出議案について。3) 研究発表実施について。

(2) 支部総会(42.1.30, 福岡大学平和台学舎) 1) 本年度事業および会計中間報告。2) 来年度支部長 日本道路公団福岡支社長 佐田愿氏推せん発表。3) 巡回映画会実施について。

(3) 研究発表会(42.1.30, 福岡大学平和台学舎) 発表者: 76名(5教室) 参加者: 236名。

## 編集 後記

この春、学窓を巣立たれた新しい土木技術者の諸兄にまず心からお祝いのことばを申し上げたい。建設の現場に、研究業務に、あるいはその他の実務にと、広い土木技術の分野ですでにそれぞれ進路はわかれている、大自然を開発して社会の進歩に寄与する土木技術者としてのご健闘を願ってやまない。

本号には、“中央自動車道建設の現況”についての報告を掲載したが、将来、国土の経済的大動脈ともなるこの事業の東京側からの部分の建設が軌道に乗ってきたことを喜ぶとともに、その施工地域の地勢的、気候的諸特性に起因する種々の新しい技術的問題点を解決しつつ事業が推進されていることを改めて認識したことである。また、“びわ湖周辺の地質、地下水問題”は、将来に予想されるこの水資源の宝庫の開発のための重要な指針となるものと思われる。その着実な調査と綿密な分析・検討に敬意を表したい。

“越中・愛本の刎橋”はわが国固有の土木技術についてのえがたい資料であり、特に土木技術の分野について比較的例の少ない歴史的考証と風格ある文章によって異色ある好個の読物となっていると思う。

最近、学会誌の記事について読者のご意見や批判などを数多く頂戴している。編集にたずさわる者にとっては読者の反応は貴重な指針となるもので、感謝にたえないところである。ことに、特集記事に対するご意見を、さらなるべく多くの読者からいただきたいものと望んでいる。また、今後、これらの読者からの特集記事に対する反応についてはある程度整理し、誌上においてその傾向等を紹介できるように努力したいと思う。

建設用資材として工事費中に大きな比重を占める丸鋼、中形形鋼などの鋼材価格が、昨年末ごろから異常な高騰を示した。これは、この後記を書いている時点ではようやく沈静に向っているが、他方、コンクリート用骨材は、ダンプトラックの交通規制を理由として、特に大都市で高騰しており、施工者側と各種のトラブルを起しているが、土木工学上の技術が進歩するにつれて、土木工事は、その質が向上し、経済的施工が可能になるのであるが、財政上にも土木関係の公共事業は重要な地位を占めるものであるだけに、資材単価の高騰は一般経済に対しても大きな影響を持つわけである。土木工事の施工の質的向上とともに、さらにより一層経済的な施工を確保することについても土木技術者の責務の重いことを痛感する次第である。

【西 敏賢・記】